



日刊 動力労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

94.10.14 No. 4079

支部大会の成功がらう!

動力千葉第二一回定期大会で
確立された闘う方針を全体化し、
当面する闘いへと邁進していく
原動力として、各支部大会を成
功させよう!

闘いの指標の第一は、何より
も「一二月ダイ改」闘争に各支
部総体が火の玉となって起ちあ
がることです。旅客における地
方交通線のさらなる切り捨て、
動力千葉潰しを眼目とした特急
行路の京葉への業務移管、貨物
における動乗勤改善攻撃を断じ
て許さない体制の確立こそ急務
なのです。

この闘いこそが、「分割・民
営化十年の検証」を目前として
出されてきている、「貨物七千
人体制」「東日本五万人体制」
と真に対決し勝利していく道に
他ならないことを、国鉄-JR
労働者に克明に示し、闘いへの
端緒を切り開くことです。

指標の第二は、「さらに大胆
に全国にはばたこう」とスケール
アップした闘いに、全組合員
が決起することです。当面はこ
の十月中旬よりスタートする全
国物販運動に、昨年掴んだ成果
の全てを傾注して全国を席卷し
進撃することです。地道な闘い
の一つ一つが、闘う労働運動の
新たな潮流の形成へと結びつい
ているということをはっきり
と自覚することです。

動力千葉の闘いの双肩を担う
ものこそ、各支部の団結力です。
各支部は、支部定期大会の圧
倒的成功を勝ちとらう!

● わずか1年半の内にこれだけの列車が廃止!

【総武本線・成田線・鹿島線】

[下り]	千葉発	4:52	→	旭着	6:01
	東京発	6:45	→	鹿島神宮着	8:34 (あゆみ)
	千葉発	7:50	→	四街道着	8:00
	千葉発	9:02	→	成東着	9:44
	東京発	9:45	→	鹿島神宮着	11:31 (あゆみ)
	千葉発	12:45	→	鹿島神宮着	14:28 (あゆみ)
	千葉発	14:30	→	成田着	15:02
	東京発	14:45	→	銚子着	16:56 (すいどう)
	佐原発	16:11	→	銚子着	16:58
	東京発	16:45	→	鹿島神宮着	18:32 (あゆみ)
	成田発	17:08	→	香取着	17:38
	佐倉発	22:21	→	八街着	22:37
	佐原発	22:33	→	銚子着	23:17
[上り]	四街道発	8:08	→	千葉着	8:18
	成東発	9:49	→	千葉着	10:33
	鹿島神宮発	10:42	→	東京着	12:30 (あゆみ)
	鹿島神宮発	12:41	→	新宿着	14:33 (あゆみ)
	成田発	16:50	→	千葉着	17:29
	銚子発	17:18	→	東京着	19:35 (すいどう)
	佐原発	17:18	→	成田着	17:56
	銚子発	17:18	→	佐原着	18:11
	鹿島神宮発	17:46	→	新宿着	19:35 (あゆみ)
	鹿島神宮発	19:44	→	新宿着	21:38 (あゆみ)
	旭発	19:52	→	千葉着	21:34
	銚子発	21:39	→	佐原着	22:21

【外房線】

[下り]	千葉発	4:55	→	上総一宮着	5:43
	勝浦発	5:11	→	安房小湊着	5:29
	勝浦発	8:55	→	安房鴨川着	9:23
	千葉発	10:10	→	大網着	10:39
	上総一宮発	10:28	→	大原着	10:41
	勝浦発	11:13	→	安房鴨川着	11:46
	千葉発	11:14	→	大網着	11:41
	勝浦発	13:05	→	安房鴨川着	13:38
	千葉発	12:43	→	勝浦着	14:20
	勝浦発	14:17	→	安房鴨川着	14:52
	上総一宮発	14:42	→	大原着	14:59
	勝浦発	19:09	→	安房鴨川着	19:37
[上り]	安房鴨川発	5:19	→	勝浦着	5:47
	安房鴨川発	9:04	→	勝浦着	9:33
	上総一宮発	9:48	→	千葉着	10:43
	大網発	10:57	→	千葉着	11:28
	大網発	11:50	→	千葉着	12:19
	大原発	11:50	→	上総一宮着	12:04
	安房鴨川発	11:54	→	勝浦着	12:24
	安房鴨川発	13:46	→	勝浦着	14:28
	安房鴨川発	15:13	→	勝浦着	15:46
	勝浦発	15:58	→	大原着	16:14
	大原発	16:32	→	上総一宮着	16:46
	安房鴨川発	22:05	→	勝浦着	22:32

【久留里線】

[下り]	久留里発	20:04	→	上総亀山着	20:23
[上り]	上総亀山発	19:43	→	久留里着	20:01

(◇)は昨年7月ダイ改、(◆)は12月ダイ改で廃止、無印は94年12月ダイ改での廃止予定列車)

● 94・12月ダイ改列車増減キ口

	削減キ口	増発キ口	増減
特急あゆみ廃止	▲452.0 回送、普通含む	119.5 回送、快速	▲332.5
朝夕通勤対応 特急の新設	▲21.9 ホームライナー	212.1 回送含む	190.2
混雑緩和/ 遠距離通勤対応		197.2 回送含む	197.2
ローカル線廃止/ 輸送の効率化	▲1776.5 回送含む	900.5 回送含む	▲876.0
合計	▲2250.4	1429.3	▲821.1

十二・三ダイ改で、またも、
ローカル線の大幅な切り捨てが
強行されようとしている。廃止
対象列車は四〇本、キロ口にして
二千キロ以上と、昨年七月・十
二月のローカル線廃止にも増し
て大幅な切り捨てである。

JRは、鉄道のもつ公共性な
ど全く無視して、なり振り構わ
ずに、採算のとれない線区の切
り捨てにでている。
別表のとおり、わずかこの一
年半の間に千葉県内のローカル
線は、実に膨大な本数の列車が
廃止され、また廃止されようと
している。前回の初終電の廃止
に続き、今回の佐原・銚子間の
終電車が上下二本廃止対象とな
っている。また、外房線では学
生の帰宅時間帯の列車が廃止対
象となっている。JR当局は、
地域の生活がいかに破壊されよ

うが、平然としているのだ。
そもそも、JRは、国民の財
産である国鉄をただ同然でだま
し取って成立した会社だ。「民
間会社である以上採算を考えざ
るを得ない」などというが、こ
んな無茶苦茶なやり方が許され
るはずはない。
ローカル線廃止計画を阻止し
よう! この間の廃止列車の復
活をかちとらう!

許さない!! 12月ダイ改 わずか1年半で68本廃止